

第1 地価公示結果における本県地価のポイント

1 令和5年1月1日における本県の地価は、住宅地、商業地ともに2年連続で上昇し、住宅地、商業地ともに上昇率は拡大した。

- (1) 平均変動率をみると、住宅地では2.3%（昨年1.0%）、商業地では3.4%（昨年1.7%）上昇した。
- (2) 上昇、横ばい、下落地点数の割合をみると、住宅地では、上昇地点が79.9%（昨年66.4%）、横ばい地点が9.8%（昨年15.7%）、下落地点が10.3%（昨年17.9%）となった。
また、商業地では、上昇地点が86.3%（昨年70.7%）、横ばい地点が7.4%（昨年18.8%）、下落地点が6.3%（昨年10.5%）となった。

2 地域別の地価は、住宅地では、名古屋市、尾張地域、知多地域、西三河地域は上昇率が拡大し、東三河地域は下落率が縮小した。また、商業地では、名古屋市、尾張地域、西三河地域、東三河地域は上昇率が拡大し、知多地域は下落から上昇となった。

- (1) 地域別の平均変動率をみると、住宅地では、名古屋市で3.7%（昨年2.2%）、尾張地域で1.5%（昨年0.5%）、知多地域で1.9%（昨年0.1%）、西三河地域で3.0%（昨年1.2%）上昇し、東三河地域で△0.1%（昨年△0.4%）下落した。
また、商業地では、名古屋市で5.0%（昨年3.2%）、尾張地域で1.6%（昨年0.6%）、知多地域で1.0%（昨年△0.5%）、西三河地域で3.2%（昨年0.8%）、東三河地域で0.8%（昨年0.2%）上昇した。
- (2) 市町村別の平均変動率をみると、住宅地では、東海市など39市町（昨年31市町）で上昇したが、南知多町など10市町村（昨年19市町村）で下落した。
また、商業地では、安城市など33市町（昨年24市町）で上昇したが、南知多町など9市町（昨年16市町）で下落した。
- (3) 名古屋市各区の平均変動率をみると、住宅地、商業地ともに全ての区で上昇した。

3 最も大きい上昇率を示した地点は、住宅地では、「名古屋東-8（泉1丁目）」（18.2%）、商業地では、「名古屋東5-1（泉1丁目）」（13.8%）であった。

一方、最も大きい下落率を示した地点は、住宅地では、「南知多-8（山海）」（△6.7%）、商業地では、「南知多5-1（大井）」（△5.3%）であった。

- (1) 住宅地では、変動率上位5位までの地点は名古屋市東区、中区及び東海市の地点となった。
また、商業地では、変動率上位5位までの地点は名古屋市東区及び中区の地点となった。
- (2) 住宅地では、変動率下位5位までの地点は南知多町の地点となった。
また、商業地では、変動率下位5位までの地点は南知多町及び美浜町の地点となった。